

ふる里岐南町へ

日本画を寄贈 長縄士郎画伯

郷土出身画家

郷土出身の画家長縄士郎氏からふる里岐南町へと、日本画二点が寄贈され、役場と北小学校に飾られました。

画伯は八剣出身で、現在は鎌倉市に住まわれています。日展会員であり、日展特選賞二回、日展菊花賞など数多くの賞を受賞され、日展審査員もされた日本画壇の代表的な一人です。

今回の寄贈は「ふる里を離れ四十年近くの歳月が流れましたが、時にふれ岐南町のことを思い出すたびに、子どもの頃に遊んだ川やお寺のことが昨日のように甦ってきます」とのことです、生まれたふ

第十一回日本美術展入選

「憩ひ」|| 役場ロビーに展示



む女性が描かれています。北小学校ロビーの南側に飾られた作品は、昭和三十六年制作で、縦百九十九センチ、横百五十センチのもので、これは日展入選作品です。二点共みごとな作品で、役場におこしの方や子どもたちの目を和ませてくれることでしょう。

第四回日展入選

「憩い」|| 北小ロビーに展示



る里に何か贈りたいと思ひ立たれたそうす。

作品は共に「憩い」と名付けられた画題で、役場ロビーに飾られた作品は、昭和三十年制作で、縦二百四十センチ、横百八十センチの大作品です。この作品は第十

一回の日本美術展入選作品で、カフェーにたたず

新しい農業委員 18人決まる

任期満了(七月十九日)による岐南町農業委員選挙(定数十一)が七月十日告示、十五日投票と予定されています。

町選挙管理委員会(三宅忠義委員長)では十日午後五時、立候補届の受け付けを締め切りましたところ、十一人の届出があり定数を超えないため無投票が確定しました。

新しい委員は、選任委員七人を含め十八人が決まり、今後三年間農業全般にわたる問題解決などに活躍されることでしょうか。

◇選任による委員

- 川出 勲(上印食四六二)
 - 鈴木 丈太郎(八剣一〇〇三)
 - 那波 吉右衛門(下印食二六八八)
 - 小関 高三郎(徳田一九二五)
 - 伏屋 教一(伏屋八九九)
 - 岩田 幸雄(三宅九七一)
 - 岸 亮一(平島四五丁目六七)
- ◇選挙による委員
- 高見 源二(八剣七三九)
 - 高見 真一(八剣四一一)
 - 堀場 健治(徳田九二二)
 - 高見 計雄(徳田六九五)
 - 小関 元治(徳田二〇〇五)
 - 澤田 正美(業師寺六四七二)
 - 伏見 重治(野中四六〇)
 - 伏屋 徳雄(伏屋八六六)
 - 川出 彰(三宅七五)
 - 伊藤 晃雄(平島二丁目一六四)
 - 松原 初男(若宮地一三三)

住居表示については、五十六年十月に住居表示推進委員会条例を制定して、委員二十五名の方々に協議・検討いただき、住居表示の実施方法については、「町名町界整備」とする。その他、住居表示に関する事については、「新町割、新町名等」の答申をいただきました。

これにより、五十七年度は、各広報会へPRを進め昨年十一月には、最初の新しい町、「石原瀬」が誕生しました。

今回、石原瀬地区に引き続き二番目の町名町界整備事業として、平島地区の全部を整備しました。

昨年の四月以来、平島西・東の広報会長さんをはじめ、地元推進員の方々と協議を重ね、地域の皆様のご理解とご協力により、八月一日から新しい町「平島一丁目から九丁目」とわかりやすく整備されました。

なお、広報会などの組織や名称は、従来どおりの広報会で運営されます。

町名町界整備事業

新しい町「岐南町平島」

8月1日に誕生 平島1丁目~9丁目

一わかりやすい町づくり一

岐南町は、土地改良事業の完了に伴う換地処分により、地名と地番が付けられています。また、住所の表わし方は、十の大字と地番により表わしています。大きな字においては、数千番におよぶ筆数の地区もあり、また、土地改良の工区がまたがっている地域では、地番が飛んだりもどったりして非常にわかりにくく、日常生活に不便をきたしています。

たとえば、一刻をあらそう救急車、消防車、あるいは医師が目的地に向う時、町名地番をたよりにしますと、わかりにくい番地のため到着が遅れ、大事にいたる原因になったり、郵便物などの運配や誤配、また、ときには届かないことも起きています。

このようわかりにくい町名地番のために起きる不便や無駄をなくすために、日常生活に合った合理的な町名地番に変更し、公共の福祉増進に務めるものです。町名町界整備事業は、本町にとって将来より一層の発展のため早急に推進しなければならぬ重要な事業です。